



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 企画管理本部長 (氏名) 中村 秀彦 TEL 075-313-6151
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,735	△5.0	824	△1.9	930	△2.1	637	0.1
2020年3月期第2四半期	13,400	1.6	840	7.5	950	6.4	636	27.1

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 1,051百万円（135.0％） 2020年3月期第2四半期 447百万円（△37.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	33.61	—
2020年3月期第2四半期	33.48	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	49,269	39,473	79.7
2020年3月期	48,290	38,659	79.6

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 39,254百万円 2020年3月期 38,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	12.50	22.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	△1.4	1,540	△3.0	1,740	△3.0	1,200	△0.8	63.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	19,064,897株	2020年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	92,423株	2020年3月期	92,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	18,972,474株	2020年3月期2Q	19,022,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、緊急事態宣言解除後の経済活動の再開や各種政策効果により一部に回復の兆しが見られましたが、その回復は限定的なものであり、都市部での新規感染者増加などの感染収束の長期化が懸念される等、依然として厳しい状況にあります。また、世界経済においても中国においては経済活動再開や経済政策等により持ち直しの動きが見られるものの、欧米諸国を中心とした世界規模での感染再拡大の兆候もあるなど、先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましても、国内の経済活動の停滞により荷動きは減少しており、反面、保管残高は高止まりの状況が続いております。また、国際物流におきましても、世界経済の停滞に加え、米中摩擦の長期化の影響もあり、輸出入ともに貨物取扱量は減少しており、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の施策を切れ目なく展開しつつ、コロナ禍において一層の「意識・知識・組織のCHANGE」の浸透を図ってまいりました。また、変化が加速する顧客ニーズに的確に対応できる営業体制の構築とともに、業務の効率化を推し進め、さらに業務品質のさらなる向上に加え、働き易い職場創りや環境問題、社会貢献等、いわゆる新しい「企業文化」の創設にも挑戦してまいりました。

また、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員の安全を最優先に考えたうえで感染防止と事業活動を両立させるため、マスク着用や手洗い・アルコール消毒の徹底等の事業所における感染防止策に加え、移動を伴う会議のオンライン化や状況に応じた時差出勤やテレワークの実施等の対策を行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は12,735百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は824百万円(前年同期比1.9%減)、経常利益は930百万円(前年同期比2.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は637百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入庫高及び貨物回転率は前年同期に比し減少しましたが、再委託先の活用も図り保管残高は増加しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は3,325百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は保管残高が増加したこと及び料金改定や貨物構成の一部見直し等の効果もあり559百万円(前年同期比35.6%増)となりました。

② 運送業

運送業におきましては、国内経済の停滞により取扱数量は減少しました。これらの結果、運送業の営業収益は6,094百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益は貨物量の減少により一部非効率な運行状況となった影響等もあり423百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は、国内および海外の経済活動の停滞の影響等から輸出・輸入とも減少し、梱包業の取扱数量についても、取引先企業の輸出の不振の影響等を受けて大きく減少しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は3,386百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は採算性の高い梱包業の取扱が減少した影響等により182百万円(前年同期比29.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ979百万円増の49,269百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が413百万円、受取手形及び営業未収入金が278百万円、固定資産の建物及び構築物が293百万円、それぞれ減少しましたが、流動資産のその他に含まれております前払費用が157百万円、固定資産の投資有価証券が非上場会社株式の新規取得及び株価の上昇により683百万円、現在建築を進めております梅小路地区の宿泊施設建設工事に係る建設仮勘定が1,117百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ166百万円増の9,796百万円となりました。これは主に、流動負債の支払手形及び営業未払金が253百万円、1年内返済予定の長期借入金が102百万円、固定負債の長期借入金が195百万円、それぞれ減少しましたが、流動負債の設備関係支払手形が主に梅小路地区の宿泊施設建設工事代金支払いによるもので514百万円、固定負債の繰延税金負債が有価証券評価益の増加等により160百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ813百万円増の39,473百万円となりました。これは主に、利益剰余金が400百万円、その他有価証券評価差額金が407百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増の79.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,231百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで1,102百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで543百万円の減少となり、前連結会計年度末に比べ413百万円（11.7%）減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,115百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,231百万円と前年同期と比べ264百万円（17.7%）の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出によるものであり、1,102百万円と前年同期と比べ2,490百万円（69.3%）の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、主に、長期借入金の返済及び配当金の支払いによるものであり、543百万円（前年同期は1,290百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2020年8月7日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,729,082	7,315,510
受取手形及び営業未収入金	4,645,530	4,367,120
貯蔵品	17,872	8,285
その他	229,217	361,620
貸倒引当金	△1,905	△1,801
流動資産合計	12,619,797	12,050,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,694,857	13,401,768
機械装置及び運搬具（純額）	597,177	596,861
土地	11,962,569	11,962,569
リース資産（純額）	24,794	41,124
建設仮勘定	385,859	1,503,837
その他（純額）	121,793	115,170
有形固定資産合計	26,787,050	27,621,331
無形固定資産	42,204	75,887
投資その他の資産		
投資有価証券	8,467,895	9,151,054
繰延税金資産	55,158	57,170
退職給付に係る資産	—	9,321
その他	319,558	305,566
貸倒引当金	△1,419	△1,419
投資その他の資産合計	8,841,193	9,521,693
固定資産合計	35,670,448	37,218,912
資産合計	48,290,246	49,269,648

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,663,047	1,409,900
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	573,168	471,168
リース債務	9,250	11,312
未払法人税等	337,564	323,876
賞与引当金	270,433	265,842
役員賞与引当金	36,500	21,000
設備関係支払手形	278,504	793,204
その他	483,528	540,548
流動負債合計	6,761,995	6,946,852
固定負債		
長期借入金	1,480,386	1,285,052
リース債務	17,854	33,834
繰延税金負債	953,496	1,114,454
退職給付に係る負債	188,756	188,627
その他	227,813	227,703
固定負債合計	2,868,305	2,849,671
負債合計	9,630,301	9,796,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	30,735,900	31,136,483
自己株式	△98,635	△98,635
株主資本合計	35,635,367	36,035,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,775,986	3,183,812
為替換算調整勘定	△1,964	△3,663
退職給付に係る調整累計額	37,739	37,957
その他の包括利益累計額合計	2,811,761	3,218,106
非支配株主持分	212,816	219,068
純資産合計	38,659,944	39,473,125
負債純資産合計	48,290,246	49,269,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益	13,400,521	12,735,093
営業原価	12,175,694	11,551,597
営業総利益	1,224,827	1,183,495
販売費及び一般管理費	384,228	359,053
営業利益	840,599	824,442
営業外収益		
受取利息	85	237
受取配当金	115,737	110,698
社宅使用料	6,023	6,987
持分法による投資利益	2,033	3,647
その他	5,352	6,532
営業外収益合計	129,231	128,104
営業外費用		
支払利息	16,758	20,312
その他	2,561	1,416
営業外費用合計	19,319	21,729
経常利益	950,510	930,816
特別利益		
固定資産売却益	5,513	1,387
特別利益合計	5,513	1,387
特別損失		
固定資産売却損	—	53
固定資産除却損	1,426	2,252
投資有価証券評価損	3,994	—
特別損失合計	5,420	2,306
税金等調整前四半期純利益	950,603	929,897
法人税、住民税及び事業税	256,826	298,575
法人税等調整額	53,349	△15,130
法人税等合計	310,175	283,444
四半期純利益	640,427	646,452
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,607	8,714
親会社株主に帰属する四半期純利益	636,820	637,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	640,427	646,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185,422	406,121
退職給付に係る調整額	△5,646	218
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,009	△1,699
その他の包括利益合計	△193,079	404,639
四半期包括利益	447,348	1,051,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442,316	1,044,083
非支配株主に係る四半期包括利益	5,031	7,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	950,603	929,897
減価償却費	644,780	689,903
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△104
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,078	△4,591
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,400	△15,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	626	△9,129
受取利息及び受取配当金	△115,822	△110,936
支払利息	16,758	20,312
持分法による投資損益(△は益)	△2,033	△3,647
為替差損益(△は益)	116	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	3,994	—
固定資産除却損	1,426	2,252
固定資産売却損益(△は益)	△5,513	△1,333
営業債権の増減額(△は増加)	107,847	278,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,047	9,586
その他の資産の増減額(△は増加)	44,865	△148,666
営業債務の増減額(△は減少)	△69,707	△253,146
未払消費税等の増減額(△は減少)	86,671	99,964
その他の負債の増減額(△は減少)	△65,523	△32,534
小計	1,603,824	1,450,728
利息及び配当金の受取額	116,322	111,365
利息の支払額	△18,853	△19,831
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△205,495	△310,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,495,798	1,231,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△3,238,363	△1,024,899
有形固定資産の売却による収入	9,486	23,592
有形固定資産の除却による支出	△164,160	—
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
その他	138	△876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,592,898	△1,102,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,700,000	—
長期借入金の返済による支出	△163,723	△297,334
リース債務の返済による支出	△11,210	△7,917
自己株式の取得による支出	△63	—
配当金の支払額	△233,883	△237,175
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,290,363	△543,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△116	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△806,853	△413,572
現金及び現金同等物の期首残高	6,641,865	3,529,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,835,011	3,115,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,199,777	6,318,580	3,882,163	13,400,521	—	13,400,521
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	61,176	12,888	—	74,064	△74,064	—
計	3,260,954	6,331,469	3,882,163	13,474,586	△74,064	13,400,521
セグメント利益	412,596	530,030	259,312	1,201,940	△361,340	840,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△361,340千円には、セグメント間取引消去△11千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△361,329千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,264,706	6,083,706	3,386,680	12,735,093	—	12,735,093
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	60,509	10,770	—	71,279	△71,279	—
計	3,325,215	6,094,477	3,386,680	12,806,373	△71,279	12,735,093
セグメント利益	559,659	423,928	182,935	1,166,523	△342,081	824,442

(注) 1. セグメント利益の調整額△342,081千円には、セグメント間取引消去△78千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△342,003千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。